



Flash News

フラッシュニュース

三重大学

創刊号

目次

大学間学術協定締結
自治体と友好協力協定締結
来年度予算復活折衝3研究組織新設
学部間協定締結

レイモンドホール登録有形文化財に
ワクチン開発が戦略的創造研究推進事業に
英虞湾海水浄化事業が地域結集型共同研究事業に

お知らせ

遠隔事業室から
国際交流室から
広報・ネットワーク室から
投稿のお願い



宋 東国大学総長

上野副学長

大学間学術協定締結

昨年12月16日に東国大学校、17日に梨花女子大学校と大学間学術協定を締結しました。両大学校はともに韓国の伝統ある総合大学です。東国大学校は、ソウル市郊外に総合病院を新設したばかりで、本学の医学部との協力関係を強く希望しています。梨花女子大学校は、語学教育に優れた独自のカリキュラムをもっていることなど、教育面での先進的な試みを開発しています。また、研究面でも多くの秀逸な成果を残しています。両校は海外の諸大学との学術交流を積極的進めており、今後、本学と両校との間で研究者や学生間交流が活発になされることが期待されます。

来年度予算復活折衝3研究組織新設

「生命科学研究支援センター」「総合情報処理センター」「医療福祉支援センター」の新設が、昨年12月22日の復活折衝で認められました。「生命科学研究支援センター」は遺伝子実験施設、機器分析センター、電子顕微鏡センターと医学部附属動物実験施設、アイソトープセ

ンターなどを一つにする施設の再編成で14人態勢の組織となります。「総合情報処理センター」も各学部にある電算処理組織を一本化し5人態勢、「医療福祉支援センター」は医学部附属病院内に設置された医療福祉相談室を拡充します。

自治体と友好協力協定締結

尾鷲市と昨年12月2日に、上野市とは今年1月23日に、それぞれ文化、教育、学術の各分野を目指した友好協力協定を締結しました。尾鷲市とは、これまで、海洋深層水研究の受託、「人文学部フォーラムin東紀州」と題しての尾鷲高校での出前授業、公民館での連続講演を実施してきました。また、7月には、東紀州地域連絡協議会を

設立するなど、同市と関わりが深いことから、協定締結に至りました。上野市は、薬事業界の企業立地が20社を超えており、大学各部の研究成果や附属病院との連携を深めて地域発展を、また、本学は、法人化を見据え、研究成果を地域社会に還元し、運営基盤を固めたいと考えています。

学部間協定締結

生物資源学部は、レイテ州立大学(フィリピン)、ハッサン2世農獣医大学(モロッコ)と学部間協定・学生間交流覚書きを締結しました。

レイモンドホール登録有形文化財に

レイモンドホールが国の文化審議会が答申した登録有形文化財(建造物)に新規登録されることになりました(決定すれば、県内で46件目)。同ホールは、帝国ホテルを建設した建築家・ライトの弟子で、日本近代建築の父とも呼ばれるアントニン・レーモンドの作。昭和26年、津市大谷町にあった県立大の附属図書館として建築されました。木造平屋で単純な長方形をしており、緩やかな鉄板ぶき切妻屋根、北側は出入り口と窓、南側は全面にガラス戸が用いられ、開放的な外観を保っています。文化財として保存しつつ、有効利用を図る計画を検討中です。

ワクチン開発が戦略的創造研究推進事業に

医学部長鎮西康雄教授は、科学技術振興事業団の戦略的創造研究推進事業の研究代表者に選ばれました(研究費総額約4億3千万円)。研究課題は、マラリアワクチンの開発です。人がマラリアの蚊に刺された場合、原虫は最初に肝臓に感染しますが、原虫が肝臓にはいるために作り出す4つの分子の機能の解明に世界で初めて成功しました。

英虞湾海水浄化事業が地域結集型共同研究事業に

科学技術振興事業団の事業補助指定を受けることになり、「閉鎖性海域における環境創世」の集中研究を始めることになりました。平成19年12月までの5カ年事業で総事業費は約25億円です。人工藻場による海水浄化や海底汚泥の自浄技術、赤潮発生予測技術などの開発を目指します。当大学からは、生物資源学部が参加します。

お知らせ

遠隔事業室から

① 遠隔事業室の平成14年度事業報告集

3月中旬に皆さんのもとにお届けします。内容は、UNCWとの遠隔授業(英語上級コース、看護学コース、古典文学コース、戦争についての日米学生討論会)、県内遠隔授業(三重大学の広場)です。

② 三重大学の広場

ZTVのコミュニティチャンネルを使って三重大学からの講義や広報が県民に開放されています。平成13年12月～14年7月は「子供の成長と子育て」を平成14年8月～15年1月は「食物と健康」を放送しましたが、平成15年2月～8月は「21世紀のものづくり」を放送予定です。

③ みえ連合大学センター設立準備委員会主催のシンポジウム

みえ連合大学の17年設立に向けて現在議論を重ねていますが、すでに設立されて本格的に稼働している京都のコンソーシアムの経験などに学ぶためのシンポジウムを計画しています。

来る3月15日(土)14時～16時、三重県総合文化センター生涯学習センターで開催します。立命館大学教授林堅太郎氏(大学と地域の連携)、大学コンソーシアム京都事務局長森島朋三氏(大学コンソーシアム京都の取組)による講演があります。ごぞって、ご参加ください。

国際交流室から

第10回3大学国際ジョイント・セミナー・シンポジウムを本年10月14日～17日に本学三翠ホールで開催します。人口・食料・エネルギー・環境をテーマに「世界におけるアジアの役割」を討議することになっています。事業創設10周年特別企画を準備しています。アジアを中心に協定校10校以上の参加が予定されています。学部を問わず多くの学生の方々にお声をお掛け下さい。

広報・ネットワーク室から

① 三重大学のホームページ

前回の改定から2年近く経過し、この間、大学を取り巻く環境も大きく変わり、又、ホームページのコンセプトも随分変わって参りました。そこで、広報・ネットワーク運営室ではホームページの改定を検討してきました。このほど、作業部会での検討も終了し、新しい様式でのホームページに模様替えとなります。新しいホームページはポータル機能を充実させ、ユーザーフレンドリーなものとなります。ご期待ください。

② ウエーブ三重大特集号

大学における教育に関しては色々なことが言われております。不親切である、分かりにくい、役に立たない——などなど。しかし色々な改善の試みがされて来ました。特集号では本学におけるこのような取り組みを紹介することにしています。

投稿のお願い

各種事項(法人化問題、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュースの提供をお待ちしております。富岡秀雄(tomioka@chem.mie-u.ac.jp)または、井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。